



# とび出す食草園のチョウ シジミチョウ科

チョウの成虫がさまざまな花の蜜を吸うのに対して、チョウの幼虫は種類によって決まった種類の葉(食草)しか食べません。植物はさまざまな化学物質をつくって虫から身を守っているの、それを解毒できる幼虫だけが食事にありつけるのです。JT生命誌研究館の食草園によく訪れるチョウとその幼虫と食草の関わりを卓上カレンダーでご紹介します。よく見かけるあのチョウの幼虫は何を食べているのかな? 近所で見かけた植物はチョウの食草だったんだ! 身近な虫や草花を注意深く観察すると新しい何かが見つかるかもしれません。



## 組み立てに必要な道具

- カッターナイフ/はさみ
- カッティングマット
- ものさし
- 鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったもの
- 両面テープ(10ミリ幅がおすすめ)
- 木工用接着剤
- つまようじ  
(接着剤を塗るへらとして使います)

5つのパーツをていねいに切り抜き、説明図にしたがって組み立ててください。

**1** 下の説明にしたがって翅の表裏を貼り合わせ、手順11の前に切り抜きます。

**2** 台座の折り線5本に、鉄筆で線を引きようにして、折り筋をつけます。

**3** 折り筋にそって、台座をしっかりと折り曲げます。

**4** 体をぴったり揃えて貼り合わせます。背中ののりしろと触角はのりづけしません。

背中ののりしろは、鉄筆で筋を入れて、外向きに折り曲げておきます。

**5** 台座を開き、体の矢印とぴったり向き合わせてのりつけします。

♀を左に、♂を右に、向かい合わせに貼ります。

**6** 両面テープを2箇所に貼り、のりしろを覆います。はくり紙はまだはがしません。

**7** 体を内側にくるむように、台座を折り曲げます。

**8** 両面テープのはくり紙をはがし、角をぴったりと合わせて台座を閉じます。

貼り直しができないので慎重に!

**9** 四隅を持ち、縦につぶすように台座を押さえると、体がとび出します。

触角を曲げないよう注意してください。

**10** 紙の出張った部分を、切り込みで噛ませてロックし、形を整えます。

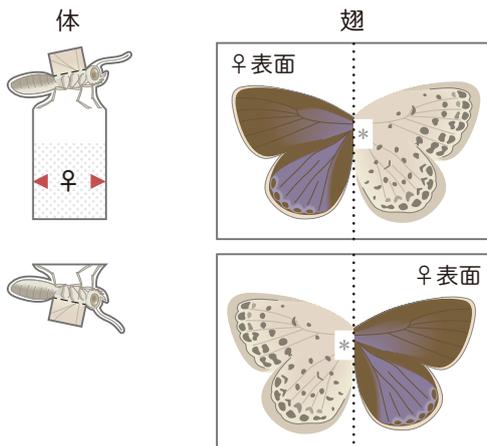
**11** 翅を背中ののりつけて完成です。翅と触角を開いて飾りましょう。

もう一度量むこともできます。

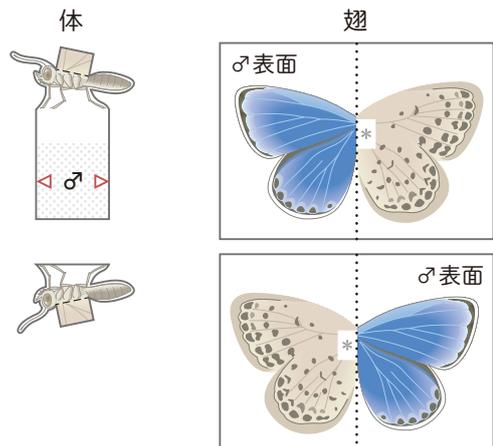
デザイン: 坂啓典(図工室)

翅は周囲の四角い線で切って真ん中で折り、裏面にまんべんなく接着剤を塗ってぴったり貼り合わせ、本などで押さえて平らにします。接着剤が乾いたら、表面の輪郭に沿ってていねいに切り抜きます。

## ヤマトシジミ ♀

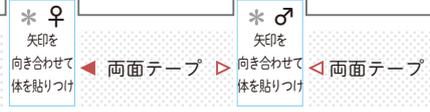


## ヤマトシジミ ♂

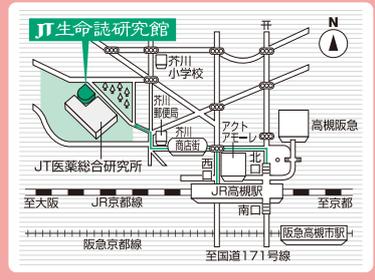


記号の説明

- 実線 切りとり線
- 点線 山折り線
- 破線 谷折り線
- 斜線 切り抜き箇所
- 両面テープでのりづけ
- \* 接着剤でのりづけ



両面テープ

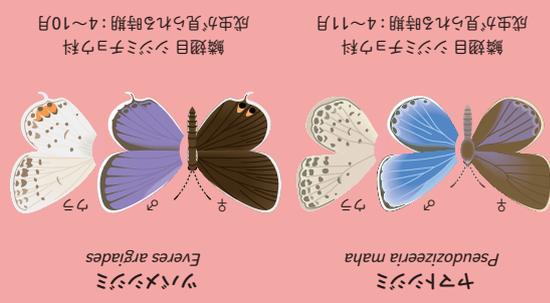


JT生命誌研究館

〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1  
Tel:072-681-9750(代表) Fax:072-681-9743  
<https://www.brh.co.jp>



開館時間 10:00-16:30 入館無料  
休館日 毎週月曜日/年末年始(12月29日~翌年の1月4日)  
最新の開館情報はWEBサイトでご確認ください。  
交通 JR京都線高槻駅より徒歩10分/阪急京都線高槻市駅より徒歩18分 JRのご利用が便利です。



ヤマトシジミは人家周辺でよくみられるシジミチョウ科のチョウで、カタバミを食草とします。ツバメシジミはヤマトシジミによく似たチョウですが、後翅にある尾状突起(びしよ)と赤い斑点が特徴で、シロツメクサなどが食草です。どちらの表面は雌雄で異なり、オスは鮮やかな青色部分が広く、見分けやすくなります。地面近くを飛ぶことが多いです。時に足を止めてシジミチョウを探してみてください。

シジミチョウの食草図



カタバミとシロツメクサ

カタバミとシロツメクサ(クローバー)はどちらも小さな葉を主に3枚もつ植物ですが、カタバミ科とマメ科という異なる種類の植物です。1枚の葉の形を見ると、カタバミはハート型、シロツメクサは丸型で見分けることができますが、チョウは葉の形で見分けるのではなく、味を確かめて食草を選んでいます。



カタバミ

シロツメクサ